

## 茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱

### (趣旨)

第1条 知事は、高等学校等を卒業後又は高等学校卒業程度認定試験に合格後、県内の医療機関に勤務する意思をもって医学部へ進学する者の保護者等の経済的な負担を軽減し、より多くの者が医学部に進学できるよう、金融機関から医学部進学のための教育資金の融資を受けた者に対し、予算の範囲内において、茨城県医師教育資金利子補給金を交付するものとし、その交付については、茨城県補助金等交付規則（昭和36年茨城県規則第67号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

### (定義)

第2条 この要綱において、「高等学校等」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）の規定に基づく高等学校、中等教育学校又は特別支援学校の高等部をいう。

2 この要綱において、「医学部」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）の規定に基づく大学の医学課程又は外国の医学校の医学を履修する課程（学校教育法に基づく大学の医学を履修する課程と同等以上であると知事が認めるものに限る。）をいう。

3 この要綱において、「金融機関」とは、茨城県が実施する茨城県医師教育資金利子補給事業の趣旨に賛同のうえ、当該事業の運用に対して連携及び協力することについて、知事と協定書の締結を行った金融機関をいう。

4 この要綱において、「茨城県修学資金等」とは、茨城県医師修学資金、茨城県地域医療医師修学資金、茨城県海外対象医師修学研修資金及び第14条第1項第3号に掲げる交付の条件を満たすことを妨げない就労義務が設けられている奨学金等として知事が認めるものをいう。

5 この要綱において、「医学生」とは、平成31年度以降に医学部に進学する者であって、他の就労義務を伴う奨学金等（茨城県修学資金等を除く。）の貸与を受けておらず、利子補給の対象となる借入金（以下、「対象借入金」という。）がその医学部進学に要する費用に充当される者をいう。

6 この要綱において、「保護者等」とは、医学生の配偶者、3親等以内の血族又は3親等以内の姻族である者若しくは医学生と同一の世帯に属する者をいう。

7 この要綱において、「教育資金」とは、金融機関が当該事業の趣旨に沿って用意した商品で、茨城県が指定したものをいう。

8 この要綱において、「保証料率」とは、保証を受ける者が保証者に支払う保証料、保険料又は手数料の率をいう。

9 この要綱において、「医療機関」とは、医療法（昭和23年法律第205号）第1条の5第1項に規定する病院及び同条第2項に規定する診療所をいう。

10 この要綱において、「高等学校卒業程度認定試験」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）の規定に基づき、文部科学大臣の定めるところにより、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による十二年の学校教育を修了した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するために行われる試験をいう。

(利子補給対象者)

第3条 この要綱における利子補給の対象となる者（以下「利子補給対象者」という。）は、次の各号のいずれかに該当する者であって、別表1に掲げる対象要件を満たし、金融機関から医学部進学のための教育資金の融資を受けている者とする。ただし、利子補給の予約申請時には、この限りでない。

- (1) 医学生
- (2) 保護者等

(対象借入金)

第4条 対象借入金は、医学部進学に要する費用に充てるため、金融機関から融資を受けた教育資金であって、3,000万円を限度とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、茨城県医師修学資金、茨城県地域医療医師修学資金及び茨城県海外対象医師修学研修資金の貸与を受けている場合は、対象借入金は2,000万円を限度とする。

(対象利子)

第5条 利子補給の対象となる利子は、利子補給対象者が金融機関との間に締結した金銭消費貸借契約の約定利率をパーセントを単位として年利率で表したもので、年利率4パーセント（保証料率を含む。）を限度とする。ただし、延滞利息及び遅延損害金は、除くものとする。

- 2 前項の規定により算定した利子補給の額に1円未満の端数が生じるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

(対象期間)

第6条 利子補給の対象となる期間は、医学生の正規の修学期間以内（最大72か月）とする。

(申請等の方法)

第7条 この補給金の交付にあたり、申請等は電子申請・届出システムにより行うことを原則とするが、紙による申請を行うことも認めることとする。また、各種申請等に必要な書類は、別表2のとおりとする。

(予約の申請等)

第8条 利子補給金の交付を受けようとする者（以下「交付申請者」という。）は、金融機関から、医学部進学のための教育資金の融資を受ける前に、あらかじめ利子補給の予約をしなければならない。利子補給の予約をしようとする者（以下「予約申請者」という。）は、「茨城県医師教育資金利子補給金交付予約申請書」（様式第1号。以下「予約申請書」という。）に別表2に掲げる書類及びその他知事が必要と認める書類を添えて、知事に提出しなければならない。

(交付予約者の決定及び通知)

第9条 知事は、前条の規定により予約申請書の提出があったときは、その内容を審査し、適当であると認めたときは、利子補給の交付予約者（以下「交付予約者」という。）を決定する。た

だし、利子補給金交付予約適格となる予約申請が予算額に達すると判断した場合は、予約申請の受付を停止する。

2 知事は、前項の規定により交付予約者を決定したときは、交付予約者に対しては、「茨城県医師教育資金利子補給金交付予約決定通知書」（様式第2号。以下「予約決定通知書」という。）により、交付予約者とならなかった者に対しては、「茨城県医師教育資金利子補給金交付予約不決定通知書」（様式第3号。以下「予約不決定通知書」という。）により、それぞれ通知するものとする。

3 交付予約者が、第11条に規定する利子補給金の交付申請書を期限内に提出しなかったときは、利子補給金の交付を受ける権利は自動的に失効するものとする。この場合において、当該年度内に交付申請をすることはできないものとする。ただし、交付予約者から、「茨城県医師教育資金利子補給金交付申請書提出期限延長依頼申請書」（様式第4号。）の提出があり、やむを得ない事由により期限内に提出することが困難であると知事が認める場合については、この限りでない。

（交付予約の取下げ）

第10条 前条第2項の規定により通知を受けた交付予約者が、第3条に規定する利子補給対象者の条件を満たさなくなったときは、「茨城県医師教育資金交付予約申請取下げ申出書」（様式第5号。）により、速やかに知事に申し出なければならない。

（交付申請）

第11条 交付申請者は、「茨城県医師教育資金利子補給金交付申請書」（様式第6号。以下「交付申請書」という。）に、別表2に掲げる書類及びその他知事が必要と認める書類を添えて、知事に提出しなければならない。

（交付決定）

第12条 知事は、前条の規定により交付申請書の提出があったときは、その内容を審査し、当該利子補給金を交付することが適当であると認めたときは、「茨城県医師教育資金利子補給金交付決定通知書」（様式第7号。以下「交付決定通知書」という。）により、交付申請者に通知するものとする。

（申請の取下げ期間）

第13条 規則第8条第1項の知事の定める期間は、交付決定通知書の送付を受けた日から14日以内とする。

（交付の条件）

第14条 規則及びこの要綱による利子補給金の交付についての条件は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 規則及びこの要綱の規定に従うこと。
- (2) 医学生は、茨城県地域医療支援センターが実施する個別面談等に参加すること。
- (3) 医学生は、医学部卒業後5年以内に県内の医療機関に2年間以上勤務すること。

- 2 知事は、第12条の規定による交付決定を受けた者（以下「交付決定者」という。）が対象借入金の償還を延納した場合は、償還を行うまでの間、利子補給金の交付を停止するものとし、償還を行った日の直後の利子補給金交付日に一括して交付するものとする。ただし、償還すべき日の属する年度を経過した償還金に係る利子補給金は、交付の対象としないものとする。
- 3 交付決定者は、医学生の県内の医療機関における勤務期間が同条第1項第3号に掲げる期間に達するまでは、毎年4月30日までに、「連絡先等確認書」（様式第8号。）により、医学生の連絡先及び勤務先を知事に提出しなければならない。
- 4 交付決定者は、医学生の県内の医療機関における勤務期間が同条第1項第3号に掲げる期間に達したときは、「勤務証明書」（様式第9号。）により、知事にその旨を届け出なければならない。

（変更の届出）

第15条 交付決定者は、次のいずれかに該当するときは、速やかに、「茨城県医師教育資金利子補給金変更届出書」（様式第10号。）により、知事にその旨を届け出なければならない。

- (1) 金融機関との間で締結した金銭消費貸借契約の内容を変更したとき。
- (2) 医学生及び交付決定者の住所又は氏名その他交付申請書に記載した内容に変更があったとき。
- (3) 対象借入金を繰上償還したとき。
- (4) 金融機関に対する割賦償還金の償還を行わなかったとき。

（利子補給金の実績報告及び請求）

第16条 交付決定者は、第6条に掲げる期間においては、毎年4月1日から翌年3月31日までの間に金融機関に対して支払った利子に係る利子補給金について、「茨城県医師教育資金利子補給金実績報告兼請求書」（様式第11号。以下「実績報告兼請求書」という。）に、金融機関が発行する「茨城県医師教育資金利子補給金利子支払証明書」（様式第12号の1又は様式第12号の2。）及びその他知事が必要と認める書類を添えて、翌年3月31日までに知事に提出しなければならない。

（利子補給金の額の確定及び支払）

第17条 知事は、前条の規定により実績報告兼請求書の提出があったときは、その内容を審査し、これを適当であると認めるときは、交付すべき利子補給金の額を確定し、「茨城県医師教育資金利子補給金確定通知書」（様式第13号。以下「確定通知書」という。）により、交付決定者に通知するものとする。

- 2 知事は、前項の規定により、確定通知書を通知した場合は、当該通知した日から30日以内に、当該利子補給金の額を交付決定者に支払うものとする。

（交付の打切り又は交付決定の取消及び利子補給金の返還）

第18条 知事は、次のいずれかの事由に該当したときは、交付決定者に対し、利子補給の打切り又は交付決定の取消及び既に交付した利子補給金の全部若しくは一部の返還を命ずることができる。

- (1) 対象借入金を目的以外に使用したとき。
- (2) 金融機関以外の機関へ債務引受されたとき。
- (3) 対象借入金が代位弁済等により弁済されたとき。
- (4) 利子補給の交付申請から利子補給の終了までの間に提出された書類に虚偽があったとき。
- (5) 他の就労義務を伴う奨学金等（茨城県医師修学資金等を除く。）の貸与や利子補給金の交付を受けたとき。
- (6) 医学生が、茨城県地域医療支援センターが実施する個別面談等に参加しなかったとき。ただし、やむを得ない事由により参加することが困難であると知事が認める場合は、この限りでない。
- (7) 医学生が、医学部卒業後5年以内に県内の医療機関に2年間以上勤務しなかったとき又は勤務する見込がなくなったと認められるとき。ただし、医学生が、業務上の事由による死亡又は業務に起因する心身の故障その他やむを得ないと知事が認める事由により医師の業務に従事することができなくなった場合は、この限りでない。
- (8) その他、交付決定者又は医学生が、規則及びこの要綱の規定その他交付決定の内容又はこれに付した条件に違反したとき。

(その他)

第19条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、知事が別に定める。

付 則

この要綱は、平成30年6月20日から施行する。

付 則

この要綱は、令和元年7月26日から施行する。

ただし、平成31年度に医学部へ進学した者に係る利子補給対象者は、改正後の要綱第3条第1号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

付 則

この要綱は、令和2年5月1日から施行する。

付 則

この要綱は、令和3年2月1日から施行する。

付 則

この要綱は、令和4年8月4日から施行する。

付 則

この要綱は、令和4年10月21日から施行する。

付 則

この要綱は、令和5年4月13日から施行する。

付 則

この要綱は、令和5年8月18日から施行する。

ただし、令和5年度以前に交付決定を受けた者は、改正後の要綱第14条第1項第3号及び第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（第3条関係）

区分	対象要件
県内出身者等	以下のいずれかに該当すること （1）医学生が、県内の高等学校等を卒業していること （2）保護者等が、第11条第1項の規定による利子補給の交付申請をする日において、引き続き3年以上県内に住所を有している者であること
その他	「県内出身者等」の区分の対象要件を満たさず、医学生が、茨城県医師修学資金、茨城県地域医療医師修学資金、茨城県海外対象医師修学研修資金のいずれかの貸与を受けていること

別表2（第7条、第8条、第11条関係）

内容	必要書類
予約の申請	交付予約申請書（様式第1号）※
	医師教育資金利子補給金の交付条件等の確認について（様式第1号別紙）
	医学部進学(予定)者及び予約申請者の属する世帯全員の住民票
	予約申請者が医学部進学(予定)者の配偶者、3親等以内の血族又は姻族であることを証する書類(予約申請者が医学部進学(予定)者本人である場合又は医学部進学(予定)者と同一世帯に属する場合は不要)
	医学部進学(予定)者に係る次のいずれかの書類 ア 高等学校等を卒業又は修了見込み、若しくは卒業又は修了したことを証する書類 イ 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みであること又は合格したことを証する書類
提出期限の延長申請	提出期限延長依頼申請書（様式第4号）※
予約の取下げ	予約申請取下げ申出書（様式第5号）※
交付の申請	交付申請書（様式第6号）※
	医師教育資金利子補給金に係る誓約書（様式第6号別紙）
	金銭消費貸借契約書の写し及び金融機関が発行する返済予定表等の写し
	医学生に係る次のいずれかの書類（ただし、予約申請時に提出している場合は不要） ア 高等学校等を卒業又は修了したことを証する書類 イ 高等学校卒業程度認定試験には合格したことを証する書類
	医学生の大学の在学証明書
	医学生及び申請者の属する世帯全員の住民票（予約申請時以降に住所の変更がない場合は添付不要）
	他の奨学金等（茨城県の修学資金貸与制度を除く。）に係る契約書等の写し（他の奨学金や利子補給金を受給している者以外は添付不要）
変更の届け出	変更届出書（様式第10号）※
補給金の実績報告及び請求	補給金実績報告兼請求書（様式第11号）※
	利子支払証明書（様式第12号の1又は様式第12号の2）

※電子申請の場合は提出不要

茨城県知事 殿

〔予約申請者〕

住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	
メールアドレス	
医学部進学(予定)者との関係	

茨城県医師教育資金利子補給金交付予約申請書

私は、茨城県医師教育資金利子補給金の予約をしたいので、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第8条第1項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

1 医学部進学(予定)者の情報

住 所	(郵便番号)	生 年 月 日	
フリガナ		電 話 番 号	
氏 名		メー ル ア ド レ ス	
高等学校等名		進学(予定)大学名	
		進学(予定)年月日	
茨城県の修学資金貸与制度の利用予定		1. 無 2. 有(制度名: )	

2 借入予定金融機関及び借入予定金の内容

金 融 機 関 名	本店・( )支店
借 入 予 定 金	金 円

3 添付書類（提出する書類のチェック欄に「○」を記入してください。）

※必要な添付書類は、募集要項や交付要綱別表2により確認してください。

チェック欄	添付書類名
	医師教育資金利子補給金に係る交付条件等の確認について（様式第1号別紙）
	医学部進学(予定)者及び予約申請者の属する世帯全員の住民票
	予約申請者が医学部進学(予定)者の配偶者、3親等以内の血族又は姻族であることを証する書類（予約申請者が医学部進学(予定)者本人である場合又は医学部進学(予定)者と同一世帯に属する場合は不要）
	次のいずれかの書類 ア 高等学校等を卒業又は修了見込み、もしくは卒業又は修了したことを証する書類 イ 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みであること又は合格したことを証する書類



## 医師教育資金利子補給金に係る交付条件等の確認について

茨城県医師教育資金利子補給金の交付申請を行うにあたり、以下の交付条件等を確認しました。

1. 医学生は、茨城県地域医療支援センターが実施する個別面談等に参加すること。
2. 医学生は、医学部卒業後5年以内に県内の医療機関に2年間以上勤務すること。
3. 以下のいずれかの事由に該当したときは、交付決定者は、知事から命じられた利子補給の打ち切り又は既に交付した利子補給金の全部若しくは一部の返還に応じること。
  - (1) 利子補給の対象となる借入金を目的以外に使用したとき。
  - (2) 金融機関以外の機関へ債務引受されたとき。
  - (3) 利子補給の対象となる借入金 が代位弁済等により弁済されたとき。
  - (4) 利子補給の交付申請から利子補給の終了までの間に提出された書類に虚偽があったとき。
  - (5) 他の就労義務を伴う奨学金等（茨城県の医師修学資金等を除く。）の貸与や利子補給金の交付を受けたとき。
  - (6) 医学生が、茨城県地域医療支援センターが実施する個別面談等に参加しなかったとき。
  - (7) 医学生が、医学部卒業後5年以内に県内の医療機関に2年間以上勤務しなかったとき又は勤務する見込がなくなると認められるとき。
4. 交付決定者は、医学生の県内の医療機関における勤務期間が上記2の期間に達するまでは、毎年4月30日までに、知事が定める様式により、勤務先及び連絡先を茨城県に提出すること。
5. 交付決定者は、医学生の県内の医療機関における勤務期間が上記2の期間に達したときは、知事が定める様式により、当該勤務の事実を茨城県に証明すること。
6. そのほか、茨城県補助金等交付規則、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱及び茨城県医師教育資金利子補給金交付決定通知書に記載されている諸事項を遵守すること。

令和      年      月      日

利子補給金交付予約申請者 住 所： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_

殿

茨城県知事

## 茨城県医師教育資金利子補給金交付予約決定通知書

年 月 日付けで予約申請のあった茨城県医師教育資金利子補給金については、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり決定したので通知します。

なお、同要綱第11条の規定に基づく交付申請を行うことについては、下記の対象借入金額を限度に承認します。

## 記

## 利子補給金交付予約決定

交付予約番号	
対象者の区分	
医学部進学(予定)者氏名	
対象借入金限度額	金 円
交付申請書提出期限	年 月 日

(対象者の区分について)

茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱別表1に掲げる区分のことを指します。

(注意事項)

- 1 本予約決定通知書は、金融機関の融資の決定及び利子補給金の交付を保証するものではありません。
- 2 利子補給金の交付を受けるためには、別途「茨城県医師教育資金利子補給金交付申請書」（様式第6号）を上記期限内に県に提出し、交付決定を受ける必要があります。なお、上記期限内に交付申請書を提出しなかったときは、交付予約決定は自動的に失効となり、当該年度内に交付申請はできなくなります。ただし、交付予約者から、「茨城県医師教育資金利子補給金交付申請書提出期限延長依頼申請書」（様式第4号）の提出があり、やむを得ない事由により期限内に提出することが困難であると知事が認める場合については、この限りではありません。
- 3 利子補給対象者の条件を満たさなくなったときは、「茨城県医師教育資金交付予約申請取下げ申出書」（様式第5号）により申し出てください。
- 4 対象借入限度額が2,000万円を超える交付予約の決定を受けた後に、茨城県医師修学資金、茨城県地域医療医師修学資金及び茨城県海外対象医師修学研修資金の貸与を受けることが明らかとなった場合は、対象借入限度額は2,000万円となります。
- 5 対象となる金融商品の内容については、各金融機関にお問い合わせください。（金融機関が当該事業の趣旨に沿って用意した商品で、茨城県が指定した金融商品のみが、本事業の対象となります。契約の際にはよく確認してください。）

殿

茨城県知事

茨城県医師教育資金利子補給金交付予約不決定通知書

年 月 日付けで予約申請のあった茨城県医師教育資金利子補給金については、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり不決定としたので通知します。

記

不決定の理由

茨城県知事 殿

[交付予約者]

住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	

茨城県医師教育資金利子補給金交付申請書提出期限延長依頼申請書

年 月 日付け医人第 号で交付予約決定のあった茨城県医師教育資金利子補給金については、下記の理由により交付申請書の提出期限を延長したいので、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第9条第3項の規定に基づき申請します。

1 交付申請書の提出期限の延長が必要な理由（状況等を詳細に記入してください。）

2 交付申請書提出見込み時期（※確実に提出する事が可能な日付を記入してください。）

年 月 日

茨城県知事 殿

〔交付予約者〕

住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	

茨城県医師教育資金利子補給金交付予約申請取下げ申出書

年 月 日付け 第 号で交付予約決定のあった茨城県医師教育資金利子補給金については、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第10条の規定に基づき、下記のとおり利子補給金交付予約申請を取り下げます。

1 交付予約番号

2 取下げ理由

茨城県知事 殿

〔交付申請者〕	
住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	
メールアドレス	
医学生との関係	
交付予約番号	

茨城県医師教育資金利子補給金交付申請書

私は、茨城県医師教育資金利子補給金を受けたいので、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第11条第1項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

1 医学生の情報

住 所	(郵便番号)	生年月日	
フリガナ		電 話 番 号	
氏 名		メールアドレス	
大 学 名		出身高等学校等	
他の奨学金等や利子補給金受給の有無 ※該当する番号を「○」で囲んでください。		1. 無 2. 有 (制度名: )	

2 融資内容

金融機関名	本店・( )支店		
約定借入金	金 円	約定年利率	% (保証料率を含む。)
第1回利子 支払年月	年 月	返済期間	年 月 ~ 年 月

3 添付書類 (提出する書類のチェック欄に「○」を記入してください。)

※必要な添付書類は、募集要項や交付要綱別表2により確認してください。

チェック欄	添付書類名	チェック欄	添付書類名
	様式第6号別紙「医師教育資金利子補給金に係る誓約書」		
	金銭消費貸借契約書の写し及び返済予定表等の写し		
	次のいずれかの書類 (予約申請時に提出している場合等は添付不要)		
	ア 高等学校等を卒業又は修了したことを証する書類		
	イ 高等学校卒業程度認定試験には合格したことを証する書類		
	医学生の大学の在学証明書		
	医学部進学(予定)者及び申請者の属する世帯全員の住民票 (予約申請時以降に住所の変更がない場合は添付不要)		
	他の奨学金等 (茨城県の修学資金貸与制度を除く。)に係る契約書等の写し (他の奨学金や利子補給金を受給している者以外は添付不要)		

## 医師教育資金利子補給金に係る誓約書

茨城県医師教育資金利子補給金の交付申請を行うにあたり、以下の項目を誓約します。

1. 医学生は、茨城県地域医療支援センターが実施する個別面談等に参加すること。
2. 医学生は、医学部卒業後5年以内に県内の医療機関に2年間以上勤務すること。
3. 以下のいずれかの事由に該当したときは、交付決定者は、知事から命じられた利子補給の打ち切り又は既に交付した利子補給金の全部若しくは一部の返還に応じること。
  - (1) 利子補給の対象となる借入金を目的以外に使用したとき。
  - (2) 金融機関以外の機関へ債務引受されたとき。
  - (3) 利子補給の対象となる借入金で代位弁済等により弁済されたとき。
  - (4) 利子補給の交付申請から利子補給の終了までの間に提出された書類に虚偽があったとき。
  - (5) 他の就労義務を伴う奨学金等（茨城県の医師修学資金等を除く。）の貸与や利子補給金の交付を受けたとき。
  - (6) 医学生が、茨城県地域医療支援センターが実施する個別面談等に参加しなかったとき。
  - (7) 医学生が、医学部卒業後5年以内に県内の医療機関に2年間以上勤務しなかったとき又は勤務する見込がなくなると認められるとき。ただし、医学生が、医師免許を取得した後、死亡又は身体の故障により医師の業務に従事することができなくなった場合は、この限りでない。
4. 交付決定者は、医学生の県内の医療機関における勤務期間が上記2の期間に達するまでは、毎年4月30日までに、知事が定める様式により、勤務先及び連絡先を茨城県に提出すること。
5. 交付決定者は、医学生の県内の医療機関における勤務期間が上記2の期間に達したときは、知事が定める様式により、当該勤務の事実を茨城県に証明すること。
6. そのほか、茨城県補助金等交付規則、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱及び茨城県医師教育資金利子補給金交付決定通知書に記載されている諸事項を遵守すること。

令和 年 月 日

利子補給金交付申請者 住 所： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_

医学生 住 所： \_\_\_\_\_

氏 名： \_\_\_\_\_

殿

茨城県知事

茨城県医師教育資金利子補給金交付決定通知書

年 月 日付けで申請のあった茨城県医師教育資金利子補給金については、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第12条の規定に基づき、下記のとおり決定したので通知します。

記

1 利子補給金交付決定

対象者の区分	
医学生氏名	
利子補給対象借入金	金 円
利子補給対象期間	年 月 から 年 月 まで
利子補給金の額	茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第5条に規定する利子補給率を乗じて得た額とする。
利子補給金交付条件	茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第14条の規定による。

2 この交付決定の内容又は交付条件に不服がある場合において、申請を取り下げられる期限は、年 月 日までとします。

(対象者の区分について)

茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱別表1に掲げる区分のことを指します。

(注意事項)

交付申請の内容に変更が生じた場合は、「茨城県医師教育資金利子補給金変更届出書」（様式第8-10号）により届け出てください。



〔交付決定者〕

住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	
メールアドレス	

## 連絡先等確認書

年 月 日付け 第 号で交付決定のあった茨城県医師教育資金利子補給金について、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第14条第3項の規定に基づき、下記の通り提出します。

## 記

## 1 医学生（※1）の連絡先について

フリガナ	
氏 名	
住 所	〒
電話番号	
メールアドレス	

## 2 医学生（※1）の勤務先について（在学中の場合は記入不要）

勤務先名	
勤務部署	
勤務先所在地	〒
勤務先電話番号	
備 考 (※2)	

※1 利子補給の対象となる借入金はその医学部進学に要する費用に充当された者を指し、既に卒業している者を含む。

※2 既に医学部を卒業したが、医療機関での勤務を開始していない場合は、その理由を記載してください。

年 月 日

〔交付決定者〕

住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電話番号	

勤務証明書

年 月 日付け 第 号で交付決定のあった茨城県医師教育資金利子補給金について、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第14条第4項の規定に基づき、下記の通り届け出ます。

記

医学生 ※ (勤務者)	氏 名	
勤務医療機関	所在地	〒
	電話番号	
	名 称	
勤務期間	年 月 日から 年 月 日まで	
備 考		

※利子補給の対象となる借入金がその医学部進学に要する費用に充当された者を指し、既に卒業している者を含む。

茨城県知事 殿

上記のとおり勤務したことを証明します。

年 月 日

医療機関名

代表者氏名

印

茨城県知事 殿

〔交付決定者〕

住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	

茨城県医師教育資金利子補給金変更届出書

年 月 日付け 第 号で交付決定のあった茨城県医師教育資金利子補給金の内容を次のとおり変更したので、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第15条の規定に基づき、関係書類を添えて届け出ます。

1 変更の内容

変更前	変更後

備考1 変更があった事項のみ記入してください。

2 変更の内容については、変更前及び変更後の欄にその内容が対比できるように記入してください。

2 変更の理由

--

茨城県知事 殿

〔交付決定者〕

住 所	(郵便番号)
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	

## 茨城県医師教育資金利子補給金実績報告書兼請求書

年 月 日付け 第 号で交付決定のあった茨城県医師教育資金利子補給金について、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第16条の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

利子補給の対象借入金（全体）	金 円
利子補給の対象期間（全体）	年 月 ～ 年 月
年間利子支払額（今回請求額）	金 円
利子支払期間（今回請求期間）	年 月 ～ 年 月

(注) 4月1日から3月31日までの間に金融機関に対して支払った利子額（延滞利息及び損害遅延金の額を含まない）を記入してください。

【添付書類】（提出する書類のチェック欄に「○」を記入してください。）

チェック欄	添付書類名
	金融機関が発行する「茨城県医師教育資金利子補給金利子支払証明書」（様式第12号の1又は第12号の2）

【振込先】

金融機関名	本店 ・ ( ) 支店
口座種別	1 普通預金口座      2 当座預金口座
口座番号	
フリガナ	
口座名義人	

茨城県医師教育資金利子補給金利子支払証明書

フリガナ	
借入者氏名	
借入者住所	
借入年月日	年 月 日
借入金額（全体）	金 円
借入期間（全体）	年 月 ～ 年 月
取扱番号	

上記の者の 年4月から 年3月までの返済状況は、以下のとおりです。

【返済状況】

（単位：円）

月	元金償還額	利子支払額	合計	備考
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
合計				

（注）利子支払額には、延滞利息及び延滞損害金の額を含まない額を記入してください。

年 月 日

茨城県知事 殿

金融機関名

印

茨城県医師教育資金利子補給金利子支払証明書

フリガナ	
借入者氏名	
借入者住所	
借入年月日	年 月 日
借入金額（全体）	金 円
借入期間（全体）	年 月 ～ 年 月
取扱番号	

上記の者の 年4月から 3月までの利子支払額は、以下のとおりです。

利子支払額 円

（注）利子支払額には、延滞利息及び損害遅延金の額を含まない額を記入してください。

年 月 日

茨城県知事 殿

金融機関名

印

第 号  
年 月 日

殿

茨城県知事

茨城県医師教育資金利子補給金確定通知書

年 月 日付けで実績報告兼請求のあった 年度分の茨城県医師教育資金利子補給金については、茨城県医師教育資金利子補給金交付要綱第17条第1項の規定に基づき、下記のとおり利子補給金の額を確定したので通知します。

記

利子補給金の確定額 金 円